



LPK GLOBAL SEISHIN ACADEMY



PT GLOBAL SEISHIN ACADEMY

COMPANY PROFILE

LPK GLOBAL SEISHIN ACADEMY PT GLOBAL SEISHIN ACADEMY

グローバルな視点と、誠心誠実な人づくり

Membentuk SDM berwawasan global
dengan integritas dan ketulusan.



Taman Mutiara Blok C4 No. 1-3,
Cimahi, Jawa Barat 40523 Indonesia



022-9749-0651



+62 813-6761-8855



admin@lpk-gsa.com

法人案内 CORPORATE PROFILE



LPK GLOBAL SEISHIN ACADEMY
PT GLOBAL SEISHIN ACADEMY

グローバルな視点と、誠心誠実な人づくり

所在地

Taman Mutiara Blok C4 No. 1-3
Cimahi 40523, Jawa Barat, Indonesia,

Nomor Telepon : 022-9749-0651
Seluler / WA : +62 813-6761-8855
Email : admin@lpk-gsa.com



ご挨拶

LPK Global Seishin Academy は、日本就業を志向するインドネシア人材に対し、日本語教育、職業能力形成、人間形成教育、ならびに日本型職業文化教育を総合的に実施する国際的人材育成機関である。

近年、日本社会においては、少子高齢化の進展、生産年齢人口の減少、産業構造の高度化を背景として、外国人材に対する社会的需要が継続的に拡大している。これに伴い、国内企業が外国人材に求める能力水準も高度化しており、単なる語学力のみならず、規律性、協調性、安全意識、責任感、職業倫理、さらには組織適応力および現場対応力を兼ね備えた実践的人材が求められている。

特に、製造分野、鉄道関連分野、インフラ関連分野、宿泊分野、介護分野、食品製造分野等においては、安全管理意識、現場規律、組織行動、報告連絡体制、継続的改善意識等を備えた人材の育成が重要な課題となっている。

このような社会的背景を踏まえ、当機関では、日本語教育を教育基盤としながら、人間形成教育、規律形成指導、基礎技能訓練、安全教育、職業意識形成、日本型職業倫理教育、ならびに就業支援体制の整備を体系的かつ実践的に実施しているものである。

また、技能実習制度、特定技能制度、育成就労制度、さらには「技術・人文知識・国際業務」等の専門的人材分野への対応も視野に入れ、産業界において持続的に活躍し得る国際的人材育成基盤の強化を推進している。

当機関は、単に海外就労人材を送り出す機関ではない。企業社会から信頼され、社会規範を理解し、組織の一員として責任ある行動を実践し得る人材を育成することを基本理念としている。

さらに、教育機関、産業界、行政機関、日本側関係機関との連携を通じ、インドネシアと日本を結ぶ国際的人材育成基盤として、持続可能な人材交流および相互発展に寄与することを使命としている。

本法人案内は、LPK Global Seishin Academy の教育理念、事業内容、教育体制、研修方針、国際連携、組織体制、ならびに将来的展望について紹介するものである。

2026 年

LPK GLOBAL SEISHIN ACADEMY

機関概要

LPK Global Seishin Academy は、インドネシア共和国西ジャワ州チマヒ市に所在する教育・職業訓練機関であり、日本語教育、人材育成、職業能力開発、就業支援、ならびに国際的人材育成事業を主たる事業としている。

当機関は、外国人材受入制度の動向、産業界における人材需要、ならびに国際的人材育成政策の変化を踏まえ、日本での就業を目指す人材に対し、体系的かつ実務的な教育・訓練を提供している。

また、単なる語学教育機関としてではなく、企業現場において求められる実務遂行能力、職業適応力、安全意識、組織行動能力を備えた人材育成機関として、総合的人材教育を推進しているものである。

教育方針としては、以下の三要素を教育基盤の中核として位置付けている。



1. 実践的日本語能力の育成

訓練生に対し、基礎日本語から実務対応レベルまで段階的教育を実施し、日本語能力試験（JLPT N4）および JFT-Basic A2 相当レベルへの到達を教育目標としている。

教育内容については、日常会話のみならず、職場内コミュニケーション、安全指示理解、報告・連絡・相談（報連相）、面接対応、作業指示理解、生活場面对応等、実社会および職場環境において必要となる実践的日本語運用能力の形成を重視している。

さらに、実務現場において必要とされる伝達理解能力、確認能力、対人応答能力等の向上を目的とした教育指導を実施している。

2. 日本型職業文化および規律意識の形成

企業社会への円滑な適応を目的として、時間厳守、責任感、協調性、礼儀作法、安全意識、清潔保持、組織行動、規則遵守等に関する教育を実施している。

また、企業現場において重視される職業倫理、行動規範、組織秩序、報告体制、現場規律、チーム行動等に関する理解を深めるとともに、継続的な規律形成指導を実施している。

特に、鉄道関連分野および製造関連分野を想定した教育においては、日本型安全管理手法に基づく行動規範教育、安全文化理解、危険予知意識、作業手順遵守等に関する教育を重視している。

3. 就業能力形成および就業支援体制

訓練生に対し、基礎技能教育、業種理解、面接対策、応募書類作成支援、就業前指導、出国前オリエンテーション等を実施し、企業社会への円滑な移行を目的とした包括的支援体制を整備している。

また、技能実習、特定技能、育成就労、「技術・人文知識・国際業務」等、多様な就業ルートへの対応を視野に入れ、訓練生一人ひとりの適性、専門性、能力水準、将来性に応じた育成支援を推進している。

さらに、受入企業との連携を通じ、実務適応能力、職場定着力、継続的成長力を備えた人材育成を推進している。

機関情報

機関名	: LPK Global Seishin Academy
法人名	: PT Global Seishin Academy
事業分野	: ・ 日本語教育 ・ 職業訓練 ・ 人材育成 ・ 就業支援 ・ 国際的人材育成事業
所在地	: Taman Mutiara Blok C4 No.1-3 Cimahi 40523 Jawa Barat, Indonesia
TEL	: 022-9749-0651
Mobile / WhatsApp	: +62-813-6761-8855
E-mail	: admin@lpk-gsa.com
代表者	: Cahyo Dwi Rurianto

役職 : 代表取締役
事業者登録番号 (NIB) : 2110250092177
主な活動地域 ; インドネシア・日本
主な対象国 : 日本

日本国内駐在所

1. 北海道駐在所
平井 公美子
北海道駐在所長
〒001-0908 北海道札幌市北区新琴似 8 条 1 丁目 1-1
2. 東京駐在所
永嶋 広和
東京駐在所長 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 18-16
3. 兵庫駐在所
佐藤 竜彦
兵庫駐在所長 〒660-0071 兵庫県尼崎市崇徳院 2-137-6
4. 広島駐在所
天野 智子
広島駐在所長 〒720-2413 広島県福山市駅家町法成寺 287-1
5. 福岡駐在所
山崎 茂雄
福岡駐在所長
〒830-0037 福岡県久留米市諏訪野町 2355-1-501
6. 宮崎駐在所
玉城 翔
宮崎駐在所長
〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町蚊口浦 5068

理念・基本方針・事業活動

理念

国際的視野と豊かな人間性を備え、日本社会および産業界において信頼される人材を育成する教育・職業訓練機関を目指す。

基本方針

1. 日本社会および産業界のニーズに対応した体系的日本語教育を推進すること。
2. 日本型職業文化、職業倫理、規律意識、協調性、社会適応力に関する教育を通じ、実践力ある人材を育成すること。
3. 各産業分野のニーズに対応した実践的職業訓練を展開すること。



4. インドネシアおよび日本国内の教育機関、企業、登録支援機関、監理団体、関係機関との連携強化を推進すること。
5. 訓練生が選考、面接、専門教育、日本での就業へ円滑に対応できるよう、支援体制を整備すること。
6. 国際社会において活躍できるインドネシア人材の育成を通じ、人材育成の質向上および国際的人材交流の発展に寄与すること。

事業概要

1. 日本語教育事業

日本での就業を目的とした体系的日本語教育を実施している。

教育内容には、ひらがな、カタカナ、基礎語彙、文法、会話、読解、聴解等を含み、日本語能力試験（JLPT N4）および JFT-Basic A2 相当レベルへの到達を教育目標としている。

日常会話能力のみならず、職場内コミュニケーション、安全指示理解、報告・連絡・相談（報連相）、面接対応等、実務現場において必要とされる実践的日本語運用能力の形成を重視している。

2. 日本型職業文化教育事業

訓練生に対し、日本企業において求められる職業倫理、組織行動、行動規範、ならびに日本型職業文化に関する教育を実施している。

主な教育内容は以下のとおりである。

- ・ 時間厳守
- ・ 責任感の醸成
- ・ 報告・連絡・相談（報連相）
- ・ 協調性
- ・ 礼儀作法
- ・ 安全意識
- ・ 整理整頓
- ・ 職場コミュニケーション
- ・ 組織行動への理解
- ・ 現場規律
- ・ 日本型安全管理文化への理解

企業現場において必要とされる対人協調性、組織適応力、継続的改善意識等に関する教育も展開している。

3. 基礎技能教育事業

各産業分野に対応した基礎技能教育を実施し、訓練生の実務理解および職業適応力向上を図っている。

各分野における基礎知識、安全管理、作業理解、業務規律、作業手順、安全確認行動等についても体系的教育を行っている。

特に、鉄道関連分野、製造関連分野、インフラ関連分野等を想定した教育においては、日本型安全管理手法に基づく行動規範教育、安全文化への理解、危険予知意識、作業手順遵守等に関する教育を重視している。

4. 面接・選考対策支援事業

日本企業との面接および選考に対応するため、実践的な面接指導および選考支援を実施している。

主な内容は以下のとおりである。

- ・ 自己紹介指導
- ・ 志望動機説明
- ・ 職歴説明
- ・ 受け答え訓練
- ・ 模擬面接
- ・ 履歴書作成支援
- ・ 応募書類確認
- ・ 面接時の態度指導
- ・ 企業対応指導
- ・ 対人応答訓練

企業現場において求められる基本姿勢、受け答え、礼節、報告姿勢等についても実践的指導を行っている。

5. 日本での就業支援事業

訓練生に対し、日本での就業に向けた包括的支援体制を整備している。

主な支援内容は以下のとおりである。

- ・ 候補者データ作成
- ・ 内部選考
- ・ 企業面接支援
- ・ 書類作成支援
- ・ 在留資格関連支援
- ・ 渡日前オリエンテーション
- ・ 生活適応指導
- ・ 出国前教育
- ・ 就業準備支援
- ・ 現地生活理解支援

訓練生が日本社会および就業環境へ円滑に適応できるよう、生活面および職業面双方における支援体制強化を推進している。

6. 国際連携・協力事業

日本国内企業、登録支援機関、監理団体、教育機関、関連団体等との連携を推進し、訓練生に対する就業機会拡大および教育品質向上を図っている。

国際的人材育成機関として、教育連携、人材交流、産業連携、情報共有等を通じ、継続的な人材育成体制の強化を推進している。

さらに、インドネシアと日本双方における人的交流および国際的人材協力の発展に寄与することを目指している。

発展構想

LPK Global Seishin Academy における発展構想は、日本社会および産業界において外国人材に求められる人材像を踏まえ策定したものである。



近年、日本国内においては、語学力のみならず、実務対応力、規律意識、協調性、日本型職業文化への理解等を備えた人材への期待が高まっている。

こうした社会的背景のもと、当機関では、教育を単なる知識習得の場としてではなく、人間力と実践力を育む総合的人材形成の場として位置付けている。

また、日本企業において重視される指示理解力、組織適応力、継続力、規則遵守意識、現場対応力等を備えた人材育成を重視している。

当機関における主な発展方針は以下のとおりである。

1. 実践的日本語教育

日本語を単なる学習科目としてではなく、日常生活および企業現場において必要とされる実践的コミュニケーション手段として位置付け、日本語教育を行っている。

2. 人間形成および規律教育

訓練生に対し、時間管理、整理整頓、責任感、規則遵守、継続力等に関する教育を通じ、日本社会に適応できる人間力の形成を図っている。

3. 産業ニーズに対応した職業訓練

技能実習、特定技能、育成就労、ならびに専門的人材分野を視野に入れ、各産業分野のニーズに対応した教育・訓練を展開している。

4. 日本社会・産業界との連携強化

日本企業、登録支援機関、監理団体、関係機関等との連携を推進し、訓練生に対する就業機会の拡大および日本社会への円滑な適応支援を図っている。

5. 組織体制強化

教育体制、カリキュラム、施設環境、講師体制、連携体制、訓練生管理体制等について継続的な体制強化を進め、安定的かつ持続的な教育機関運営を推進している。

目的・方針・目標

目的

本法人案内は、LPK Global Seishin Academy の基本情報、教育方針、事業内容、組織体制、連携体制、ならびに人材育成に対する取り組みについて紹介することを目的として作成したものである。

方針

1. LPK Global Seishin Academy における教育・職業訓練体制について広く紹介すること。
2. 教育機関、企業、行政機関、日本側関係機関等に対し、当機関の教育・訓練活動への理解を深めること。
3. 教育・人材育成分野における連携強化のための基礎資料として活用すること。
4. 広報活動、訪問、意見交換、連携活動等における公式資料として活用すること。
5. インドネシア人材育成に対する当機関の継続的な取り組みを示すこと。

目標

1. 体系的かつ継続的な日本語教育体制を構築すること。

2. 規律意識と人間性を備えた人材育成を推進すること。
3. 日本での就業に対応できる人材を育成すること。
4. 教育機関、企業、日本側関係機関との戦略的連携を推進すること。
5. 国際的視野を備えたインドネシア人材育成への貢献を図ること。

教育・研修分野

LPK Global Seishin Academy では、日本での就業を目指す人材育成を目的として、多様な専門分野に対応した教育・研修プログラムを展開している。

各プログラムは、日本社会および産業界における実務的ニーズを踏まえ、日本語能力、職業倫理、基礎技能、実務理解、現場対応力、ならびに就業適応力の向上を目的として構成されている。

1. 日本語教育分野

日本での就業を目的とした体系的日本語教育を実施している。

教育内容には、基礎文法、語彙、会話、読解、聴解、日本語による職場コミュニケーション等を含み、日本語能力試験（JLPT N4）および JFT-Basic A2 レベルへの到達を教育目標としている。

また、日常会話能力のみならず、実務現場において必要とされる報告・連絡・相談（報連相）、安全指示理解、面接対応、対人応答能力等の形成を重視している。

2. 特定技能分野

特定技能制度に対応した教育および就業支援を実施している。

訓練生に対し、日本語教育、面接対策、職業意識形成、生活指導、ならびに各産業分野への理解促進を行い、日本企業への円滑な就業および職場定着を支援している。

対象分野には、飲食品製造業、農業、介護、宿泊業、ビルクリーニング等が含まれる。

また、各分野において求められる職業規律、安全意識、組織行動、現場対応力等に関する教育も実施している。

3. 技能実習分野

技能実習制度に対応した教育および訓練を実施している。

訓練生に対し、日本語教育、日本型職業文化教育、安全教育、生活適応指導、基礎技能教育等を実施し、企業現場および実習環境への円滑な適応能力向上を図っている。

さらに、実務現場において求められる規律意識、協調性、安全行動、作業手順遵守等についても重点的な教育を展開している。

4. 育成就労分野

育成就労制度を視野に入れた教育・訓練および就業支援を実施している。

訓練生に対し、日本語能力向上、職業倫理教育、基礎技能訓練、協調性形成、生活適応教育等を行い、日本社会および企業環境において長期的に活躍できる人材育成を推進している。

また、制度移行を見据えた実務対応力、組織適応力、継続的成長意識等に関する教育も実施している。

5. 技術・人文知識・国際業務分野

専門的知識および技術的背景を有する人材を対象として、日本企業への就業支援を実施している。

主な対象分野には、機械・製造技術分野、通訳、国際業務、教育支援等が含まれる。



履歴書作成支援、面接対策、企業紹介、就業指導等を通じ、専門的人材として求められる実務対応力および職業適応力の向上を図っている。

6. 鉄道基礎教育分野

鉄道分野に関する基礎教育および安全教育を実施している。

教育内容には、鉄道システム基礎理解、安全管理、運行規律、鉄道設備概要、保守・点検業務基礎等を含み、鉄道関連分野において必要とされる基礎知識および安全意識形成を重視している。

また、日本型安全管理文化、現場規律、危険予知意識、安全確認行動、組織協調等への理解向上を目的とした教育を実施している。

7. 製造・技術分野

製造業および技術分野に対応した基礎教育を実施している。

教育内容には、作業安全、工具使用基礎、生産管理意識、品質管理意識、作業規律、工場内コミュニケーション等が含まれる。

さらに、日本型製造現場において重視される安全管理意識、作業手順遵守、組織行動、継続的改善意識等についても重点的に教育している。

8. 宿泊・サービス分野

宿泊業およびサービス業に対応した教育を実施している。

訓練内容には、接客マナー、日本語コミュニケーション、清潔管理、礼儀作法、顧客対応、安全意識等が含まれる。

また、日本におけるサービス品質、接客文化、対人対応意識、ならびに職業倫理への理解向上を重視した教育を展開している。

9. 介護基礎教育分野**

介護分野における基礎教育を実施している。

教育内容には、高齢者支援基礎、コミュニケーション、介護現場マナー、安全管理、協調行動等が含まれる。

また、介護分野において求められる思いやり、責任感、継続的支援意識、対人協調性等の形成を重視している。

10. 農業・食品製造分野

農業分野および食品製造分野に対応した教育を実施している。

教育内容には、安全衛生、作業管理、衛生管理、品質意識、日本型職業規律等が含まれる。

また、日本企業において求められる衛生基準、安全管理意識、作業規律、組織行動等についても重点的に教育している。

当機関の特長

LPK Global Seishin Academy は、日本での就業支援に特化した教育・職業訓練機関として、以下のような特長を有している。

1. 日本での就業を目的とした体系的教育体制
2. 日本語教育と人間形成教育を統合した人材育成方針
3. 日本型職業文化および規律教育の実施

4. 分野別基礎技能教育への対応
5. 日本国内関係機関との連携体制
6. 段階的な就業支援および生活適応支援
7. 法令遵守および運営管理体制

当機関は、事業運営において法令遵守、適正な管理体制、行政手続、ならびに組織運営の適正性を重視し、教育・職業訓練機関として秩序ある運営体制の維持に努めている。

戦略的連携・国際協力体制

LPK Global Seishin Academy は、教育品質向上、人材育成強化、ならびに日本での就業機会拡大を目的として、インドネシア国内外の関係機関との戦略的連携を推進している。

当機関では、教育機関、産業界、日本国内関係機関、企業、ならびに関連団体との協力体制を構築し、実践的かつ継続的な人材育成環境の整備を進めている。

また、日本社会および産業界における実務的ニーズを踏まえ、教育内容、基礎技能教育、日本語教育、職業倫理教育、ならびに就業支援体制の強化に取り組んでいる。

1. 産業界との連携

LPK Global Seishin Academy は、実務ニーズに対応した人材育成を推進するため、産業界との連携強化を進めている。

産業分野との連携を通じて、訓練生に対する実務理解向上、産業構造理解、基礎技能教育強化、ならびに就業適応力向上を図っている。

また、日本型産業文化、安全管理意識、組織規律等についても教育内容へ反映している。

PT INKA (Persero) との連携

PT INKA (Persero) との連携を通じて、鉄道産業、製造技術、輸送システム分野等に関する理解向上を図っている。

また、鉄道関連分野における基礎理解、安全意識、産業構造理解等についても教育内容へ反映し、訓練生に対する実務理解力の向上を推進している。

さらに、鉄道分野における人材育成および技術理解促進に向けた教育協力体制の構築を進めている。



2. 教育機関との連携

LPK Global Seishin Academy は、教育品質向上および実践的人材育成の強化を目的として、各種教育機関との連携を推進している。

教育機関との協力を通じて、教育カリキュラム強化、技術教育支援、実務理解向上、ならびに国際的人材育成環境の整備を進めている。

1. Politeknik Manufaktur Bandung との連携



製造技術分野、工業技術分野、生産技術分野等に関する教育連携を推進している。

また、製造業に必要とされる安全意識、生産管理意識、品質意識、ならびに技術理解向上を目的とした教育協力を進めている。

2. Politeknik Perkeretaapian Indonesia との連携



鉄道分野に関する基礎教育、安全教育、運行規律理解、ならびに鉄道産業理解促進を目的とした教育連携を推進している。

また、鉄道関連分野における基礎的人材育成および実務理解向上に向けた協力体制を構築している。

3. STTD Bekasi との連携

陸上交通分野、輸送管理分野、安全管理分野等に関する教育協力を推進している。

また、交通分野における規律意識、安全意識、組織理解等についても教育内容へ反映している。

4. 中等職業学校（SMK）との連携

中等職業学校（SMK）との連携を通じて、日本語教育、職業意識教育、国際キャリア形成支援等を推進している。
また、日本での就業機会に関する理解促進、基礎的人材育成、ならびに進路形成支援についても協力を進めている。

5. 大学・高等教育機関との連携

大学および高等教育機関との連携を通じて、専門的人材育成、技術教育支援、国際的人材育成等を推進している。
また、専門分野に対応した日本での就業支援、教育協力、企業連携等についても取り組みを進めている。

6. 日本国内関係機関との連携



LPK Global Seishin Academy は、日本国内企業、登録支援機関、監理団体、教育機関、関連団体等との連携強化を進めている。

これらの連携を通じて、訓練生に対する就業機会拡大、日本社会への適応支援、生活適応支援、ならびに継続的人材育成体制の強化を図っている。

また、日本企業が求める実務能力、規律性、協調性、安全意識等を踏まえた教育体制整備を推進している。

7. 政府機関・関連機関との連携

政府機関および関連機関との協力を通じて、人材育成、職業訓練、教育品質向上、ならびに制度理解促進への取り組みを進めている。

また、教育・訓練機関としての適正運営、法令遵守、制度理解、行政連携等についても継続的な強化を図っている。



主要プログラム

1. 就業向け日本語教育プログラム

本プログラムは、学習者が日常生活および職場環境において必要とされる日本語運用能力を習得できるよう設計された教育プログラムである。

1. 主な教育内容は以下のとおりである。

- ひらがな・カタカナ
- 基礎語彙
- 基礎文法
- 日常会話
- 職場会話
- 聴解訓練
- 読解訓練
- JFT-Basic A2 対策
- JLPT N4 対策

2. 日本型メンタル・規律教育プログラム

本プログラムは、日本企業において求められる就業姿勢および行動規範を身につけることを目的としている。

主な教育内容は以下のとおりである。

- 時間厳守
- 職業責任意識
- コミュニケーションマナー
- 清潔保持および整理整頓
- チームワーク
- 規則遵守
- 安全意識
- 報告・連絡・相談（報連相）
- 上司・同僚に対する礼節

3. 日本企業面接対策プログラム

本プログラムは、日本企業との面接選考に対応できる実践力を養成することを目的としている。

主な教育内容は以下のとおりである。

- 自己紹介
- 職務経験説明
- 日本就業に対する志望動機説明
- 質疑応答訓練
- 面接シミュレーション
- 面接時の身だしなみおよび態度指導
- 履歴書作成指導
- 提出書類準備指導

4. 育成就労制度対応準備プログラム

本プログラムは、日本における外国人材育成制度である育成就労制度への対応を目的として設計された教育プログラムである。

教育内容は、日本語能力向上、基礎技能教育、就業姿勢、規律意識の醸成を中心に、日本企業において段階的に成長できる人材育成に重点を置いている。

主な教育内容は以下のとおりである。

- 育成就労制度概要
- 就業向け日本語教育
- 日本型職業文化教育
- 規律意識および職業倫理教育
- 安全衛生教育
- 企業内基礎コミュニケーション
- 日本生活適応支援
- 面接・選考対策
- 渡日前オリエンテーション

5. 基礎鉄道教育プログラム

本プログラムは、運輸・鉄道分野における人材育成を目的として開発された GSA の主要教育プログラムの一つである。

主な教育内容は以下のとおりである。

- 鉄道基礎理解
- 安全教育
- 運行規律教育
- 鉄道車両・設備基礎理解
- 保守・維持管理業務理解
- 運輸分野における職業倫理シミュレーション
- 日本型業務基準理解

6. 日本就業支援プログラム

本プログラムでは、日本就業に向けた学習者支援を総合的に行っている。

主な支援内容は以下のとおりである。

- 適性・希望分野分析
- 候補者データ整備
- 内部選考
- 面接準備支援
- 契約前指導
- 書類準備支援
- 出国前オリエンテーション
- 渡日前教育

施設・教育環境

LPK Global Seishin Academy では、教育・訓練活動を支えるため、各種教育設備および支援環境を整備している。

主な施設・教育環境は以下のとおりである。



1. 教室
2. 事務室
3. 学習者指導エリア
4. 教育用メディア設備
5. 日本語教材
6. 職業訓練教材
7. 面接シミュレーション設備
8. 学習者管理システム
9. 教育・産業分野ネットワーク
10. 段階的学習者支援体制

人材育成に対する社会的貢献

LPK Global Seishin Academy は、教育・訓練・人材育成支援を通じ、インドネシア人材の質的向上に取り組んでいる。

主な取り組み内容は以下のとおりである。

1. インドネシア青年層に対する国際的なキャリア形成機会の提供
2. 職場環境に対応できる日本語能力の向上支援
3. 規律性・責任感・専門性を備えた職業人材育成
4. 日本型職業文化理解促進
5. 初期教育を受けた人材の提供を通じた日本側人材需要支援
6. 教育機関・産業界・国際機関との連携強化
7. インドネシア人材の国際競争力向上支援
8. 教育・職業訓練・能力開発支援および就業機会提供を通じた雇用創出支援

課題と今後の対応

日本就業に向けた人材育成においては、以下のような課題への対応が求められている。

1. 一部候補者における日本語能力不足

2. 日本型職業文化理解の地域差
3. 日本企業と現地環境における規律基準の差異
4. 日本就業制度に関する情報不足
5. 継続的な人間形成教育の必要性
6. 分野別専門技能強化の必要性
7. 教育機関・産業界・日本側関係機関との継続的連携強化

今後期待される発展可能性

さまざまな課題が存在する一方、インドネシア人材の日本就業分野における発展可能性は非常に大きい。
主な成長可能性は以下のとおりである。

1. 日本就業を希望するインドネシア青年層の増加
2. 日本国内における人材需要拡大
3. 技能実習・特定技能・育成就労・専門的技術分野における就業機会拡大
4. 日本語教育および日本型職業文化教育需要の増加
5. インドネシア・日本間教育連携機会の拡大
6. 学校・イスラム教育機関・教育機関・一般社会における受講希望者の増加
7. 製造業、農業、食品加工、宿泊業、介護、鉄道分野等における専門教育需要拡大

発展戦略

LPK Global Seishin Academy では、以下の方針に基づき継続的な教育発展を進めている。

1. 日本語教育の質向上
2. 日本就業需要に基づくカリキュラム整備
3. 講師・指導者品質向上
4. 専門分野別教育教材開発
5. 教育機関および産業界との連携強化
6. 日本側関係機関との連携強化
7. 学習者管理・データ管理体制強化
8. 内部選考制度高度化
9. 人間形成教育および規律教育体制強化
10. 専門的かつ適切な運営体制を通じた信頼関係維持

法人基本情報

LPK Global Seishin Academy / PT Global Seishin Academy は、日本語教育、職業訓練、人材育成、日本就業支援等を行う教育・職業訓練機関として、関係法令および各種制度に基づいた運営体制を整えている。

法人概要は以下のとおりである。